

## 令和4年度第5回 関東地方整備局事業評価監視委員会 審議結果

1. 日 時 令和5年1月18日（水） 10:00～11:25
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」他
3. 開催方式 対面、WEB会議の併用
4. 出席者

### [委員長]

久保田 尚 （埼玉大学大学院理工学研究科教授）

### [委員]

朝日 ちさと （東京都立大学都市環境学部都市政策科学科教授）  
河野 多美 （株式会社JTBパブリッシングライフスタイルメディア編集部長）  
古関 潤一 （東京大学大学院工学系研究科教授）  
志手 一哉 （芝浦工業大学建築学部建築学科教授）  
鈴木 崇之 （横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授）  
竹内 智子 （千葉大学大学院園芸学研究院准教授）  
手塚 広一郎 （日本大学経済学部長）  
原 珠里 （東京農業大学国際食料情報学部国際食農科学科教授）  
平澤 哲哉 （東京商工会議所地域振興部長）  
山崎 誠子 （日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科准教授）  
横山 勝英 （東京都立大学都市環境学部都市基盤環境学科教授）

（敬称略、五十音順）

### [特別委員]（東日本高速道路(株)事業評価監視委員会委員）

寺部 慎太郎 （東京理科大学理工学部土木工学科教授）

### [関東地方整備局]

局長 廣瀬、副局長 田中、副局長 石橋、企画部長 小林、道路部長 松本 他

### [東日本高速道路株式会社]

建設事業本部 副本部長兼建設部長 堀、関東支社長 千田、関東支社建設事業部長 加藤 他

## 5. 審議結果

### 1) 再評価

- ・対応方針（原案）の審議（全2件）
- ・事務局が説明した再評価対象事業2件は、対応方針（原案）の通り了承された。

#### <評価対象事業>

事業区分	事業名	事業主体	対応方針 (原案)	審議 結果	委員からの主な意見
道路	一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（金沢～戸塚）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調整池について、流域治水の考え方も踏まえた検討を実施して欲しい。</li> <li>・追加対策や地元対応による効果や事業費増額リスクについて、今後の評価において説明を検討して欲しい。</li> <li>・以下の付帯意見をもって、原案どおり了承とする。</li> </ul> <b>【付帯意見】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地元地域の安全安心と施工の安全を最優先として、早期開通に努めること。</li> <li>② 引き続きコスト縮減に努めるとともに、今回事業費増となった要因を分析し、今後、コスト管理の徹底に努めること。</li> <li>③ 地域住民との十分な対話を基礎に、環境対策や安全対策に積極的に取り組み、現実的な範囲で最善を尽くすこと。</li> </ol>
道路	一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（横浜湘南道路）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	了承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加対策や地元対応による効果や事業費増額リスクについて、今後の評価において説明を検討して欲しい。</li> <li>・以下の付帯意見をもって、原案どおり了承とする。</li> </ul> <b>【付帯意見】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地元地域の安全安心と施工の安全を最優先として、早期開通に努めること。</li> <li>② 引き続きコスト縮減に努めるとともに、今回事業費増となった要因を分析し、今後、コスト管理の徹底に努めること。</li> </ol>

### 2) 事後評価

- ・対応方針（原案）の審議（全1件）
- ・事務局が説明した事後評価対象事業1件は、対応方針（原案）の通り了承された。

#### <評価対象事業>

事業区分	事業名	事業主体	審議 結果	委員からの主な意見
道路	一般国道16号八王子拡幅	関東地方整備局	了承	・本事業で実施した工夫等については、他事業にも反映していただきたい。